

ちょっとだけ!!
フライングディスク
将来構想会議
2020

将来構想メモ vol.1 (2020/09/01)

Flying Disc Times
presents

<ゲストプロフィール>

中村友洋

活動拠点:中部地区

所属:愛知大学

関わり方:プレイヤー

松本諒

活動拠点:中部地区

所属:日本福祉大学

関わり方:プレイヤー

河原芳樹

活動拠点:中部地区

所属:愛知大学

在学:名古屋学芸大学

関わり方:プレイヤー

小野祥平

活動拠点:中部地区

所属:中部大学ーラスカルズ

関わり方:プレイヤー

<フライングディスクをこうしていきたい>

- ・競技人口を増やしたい

<困っていること / 課題>

- ・人数不足
- ・練習場所の確保
- ・指導者がいない

＜考えている解決策＞

1. SNSの活用

→ 大学の新歓アカウントで映像や写真を発信

2. フライングディスクコミュニティと他のコミュニティの協働

→ 例)各大学の写真部に写真を撮ってもらいコンテストを開催する

3. ディスクを「投げたことがある」という体験を提供する

→ ディスクをチラシとしてばらまく

→ ディスクを渡す、ディスクを持っていることが大事

(ビラと違って捨てないので手元に残る)

→ 例)JFDAの会員特典として年間10枚/1人のディスクをもらい、日本中にばらまくことで普及活動を行う

<論点の整理>

・**新入部員、競技人口を増やす**

→ 現在フライングディスクで関わっている人たちの競技を始めたきっかけを知ることによって何かヒントがあるかもしれない

・**ディスクを競技の用具だけでなく「チラシ」として活用する**

→ 普及活動、競技人口の増加に繋がられる

参加者写真

